

令和6年4月30日

新潟市議会議長 様

会 派 名 新潟市公明党
代 表 者 名 佐 藤 誠
経 理 責 任 者 名 松 下 和 子

令和5年度政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 (単位 円)

	金 額	備 考
政務活動費	1,320,000	@30,000×4人×11月

2 支 出 (単位 円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	392,254	別紙のとおり
研 修 費		
広 報 費	791,468	別紙のとおり
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	1,183,722	

3 残 額 136,278円



支出伝票一覧表

会派名	新潟市公明党			
支出年度	令和5年度	支出項目	調査研究費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	R5.7.27	行政視察(札幌市・小樽市・旭川市)・交通費・宿泊費	354,355	
2	R5.7.27	視察先お土産代	3,240	行政視察 札幌市1050円 小樽市1050円 旭川市1050円
3	R5.7.31	タクシー代	1,470	乗車区間 札幌駅～札幌市児童相談所
4	R5.7.31	タクシー代	1,470	乗車区間 札幌市児童相談所～札幌駅
5	R5.8.2	ICTパーク視察利用料	30,000	
6	R6.3.15	コピー機使用料	1,527	24×30/31+3031=3054
7	R6.4.18	コピー機使用料	192	
		小 計	392,254	
		合 計	392,254	

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	-
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年7月31日 から 令和5年8月2日		
支出年月日	令和5年7月27日		
支 出 金 額	354,355 円		
支 出 先	共立観光(株)新潟支店		
使 途 内 容	行政視察(札幌市・小樽市・旭川市)・交通費・宿泊費		
備 考	372080+275(振込手数料)=372355円 372355-()=354355()		

領収書貼付欄 (調査研究費)

第一北越銀行

お取引明細票

お取引日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容				
05-07-27	281	26	N				68	振 込				
万円	千円	円	千円	百円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	消費税込 手数料別	お取引後元帳残高
										¥372,080	¥275	
ご 案 内		* お振込明細 *				080068						
お振込先												
ご依頼人		ニカ`マシヨメイトウ セイム サトウ マコト 様		TEL025-226-3468								

12:02

印紙税申告納
付につき新潟
税務署印認押

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。
 ●ご利用のお客様へ
 ○ご利用の日および時間により当行所定の手数料(消費税込)を手数料欄記載のとおり
 お支払いいただいております。
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の決済日にお取引口座からお支払い
 いただきます。

■印紙税納付の必要がない場合は
 *印で消しております。
 裏面のご案内をあわせてご覧ください。

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

1、日程 2023年7月31日(月)～8月2日(水)

2、視察項目(視察先)

- ①子育てデータ管理プラットフォーム(札幌市)
- ②小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業(小樽市)
- ③ICTパークの取り組み(旭川市)

3、参加者 公明党新潟市議団 4名

- ① 佐藤 誠(さとう まこと)
- ② 小山 進(こやますすむ)
- ③ 松下和子(まつした かずこ)
- ④ 志賀泰雄(しが やすお)

4、日程

7/31(月) 11:00 新潟空港集合
11:35 新潟空港発(ANA1115便)
12:50 新千歳空港着 昼食
13:54 新千歳空港発(JR快速エアポート141号・札幌行)
14:31 札幌駅着、タクシーで移動
15:00 視察①<子育てデータ管理プラットフォーム(札幌市 児童相談所)>
札幌市中央区北7条西26丁目1-1
16:00 終了、タクシーで移動
16:26 札幌駅発(JR函館本線・小樽行)
17:11 小樽駅着
17:30 ホテル 小樽市内「ドーマーインPREMIUM小樽(☎0134-21-5489)」

8/1(火) 10:00 ホテル発、視察先へ徒歩で移動
10:30 視察②<小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業(小樽市役所)>
12:00 終了、徒歩で移動、昼食
13:35 小樽駅発(JR快速エアポート142号・新千歳空港行)
14:08 札幌駅着
14:30 札幌駅発(JR特急ライラック21号・旭川行)
15:55 旭川駅着
16:30 ホテル 旭川市内「ワイズホテル旭川駅前(☎0166-29-3255)」

8/2(水) 9:30 ホテル発、視察先へ徒歩で移動
10:00 視察③<ICTパークの取り組み(旭川市 ICTパーク)>
旭川市3条通8丁目842-2
11:30 終了、徒歩で移動、昼食
13:00 旭川駅発(JR特急ライラック24号・札幌行)
14:25 札幌駅着
14:35 札幌駅発(JR快速エアポート146号・新千歳空港行)
15:13 新千歳空港着
16:20 新千歳空港発(JAL2876便・新潟行)
17:30 新潟空港着、解散

視察（出張）報告書

令和5年8月7日

新潟市議会議長 様

氏名 小山 進

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	佐藤 誠 小山 進 松下 和子 志賀 泰雄
期 間	令和5年7月31日（月）～ 令和5年8月2日（水）
視 察 先	北海道札幌市、小樽市、旭川市
視 察 用 務	・子育てデータ管理プラットフォームについて（北海道札幌市） ・小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業（小樽市） ・ICTパークの取り組み（旭川市）
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

○札幌市：子育てデータ管理プラットフォームについて

日 時：令和5年7月31日

視察先：札幌市 児童相談所

札幌市中央区北7条西26丁目1-1

対応者：札幌市こども未来局 児童相談所地域連携課

管理係長 町田達哉 氏

管理係 佐藤智昭 氏

地域連携担当係 佐々木やよい 氏

1. 取組みの経緯と概要

2019年6月に2歳女児が衰弱死したとされる事件の検証で「令和元年6月死亡事例に係る検証報告書」において市の第三者委員会から市の対応について、関係部署の情報共有不足、情報活用の不十分さなどの課題が指摘された。

この課題解決のため、支援業務を補完するためにICTを活用した新たなシステムを導入した。妊婦の健診記録や予防接種の状況などの情報を時系列順に一覧で表示。市内の18歳未満の全ての子どもの情報管理を一元化し、児童虐待の危険度を予測するシステム。

- ・業務効率化による職員の負担軽減
- ・システムや多くの職員のチェックによるヒューマンエラーの防止
- ・児童相談所や区それぞれで使用するシステムを連携し、情報を一元管理
- ・一元化されたデータによる「情報共有」「リスク予測」「アラート通知」の実現

児童相談所、区家庭児童相談、母子保健情報など各システムの連携によって

必要な情報を迅速に取得できる（シェアリング機能）

リスクの検知とリスク評価を支援する（リスクスコアリング機能）

対象者を定期的に観測していく（モニタリング機能）

このシステム化によって担当者から管理職まで組織全体で共有し確認できる。

2. これまでの主な成果や評価

- ・母子保健活動から虐待発生予防（0次予防）を含めた切れ目のない支援
- ・休日夜間の緊急対応時にも、支援に必要な情報を即時・的確に把握
- ・要対協や個別ケースのリスク変動を組織全体でリアルタイムに把握

3. 新たな展開、今後の取組み

入力された情報から、児童虐待に至る危険度をグラフで示したり、確率値を算出する機能な

ど、部署や職員の間で差異が生じがちな認識を一致させる。この確率値は今後、情報入力を進めることで、システムが学習して精度を高め、情報共有のメリットを様々な支援の判断に役立てられるようにしていく。

また、学校や生活保護の状況など、教育委員会や各機関との連携も検討していく。

【所見】

一向に無くならない児童虐待。子どもたちの安心・安全を守っていくのは私たちの責務と考えます。そのような中、札幌市での縦割り行政を打ち破り、子どもや子育てに関わる複数の部署で情報を迅速に共有できるシステムの導入ができた事はとても大きいことであると思う。

システムの導入により、各部署間での連絡のミスや情報の見落としがなくなり、情報の共有とともに、個人ではなく各部署としての判断ができるなど、現場で働く職員にとっても大きな負担の軽減になると考える。それによって子どもへの手厚い支援に繋がるにではないだろうか。

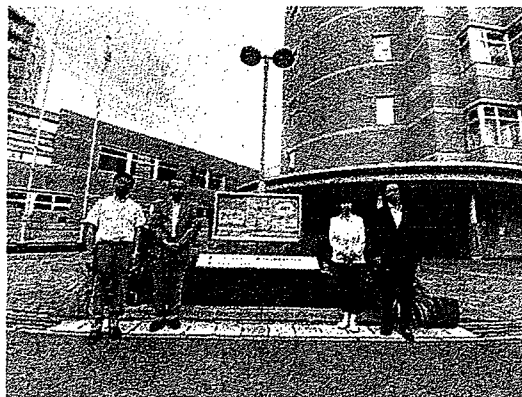
一方、誰もが見ることができるという観点から、個人情報の流出など最新の注意をはらっていかねばならないと考える。

今後は、各機関との連携も検討していくとのことであるが、より多くの子どもの命を守ることに繋がっていくと思われる。

本市にも妊娠子育てほっとステーションが各区に設置されています。様々な支援を行っていますが今後ますますこのほっとステーションの役割は大事になってくると思います。

区内だけではなく各部署との連携、情報の共有も大事であり、この札幌市で行っているシステムの活用も考えられます。

少しでも子どもたちの安心・安全のために、子どもファーストの新潟市であることを願います。



○「小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業」(北海道小樽市)

日 時：令和5年8月1日

視察先：小樽市役所

小樽市花園5丁目10-1

対応者：小樽市議会 副議長 秋元智憲 氏

小樽市建設部 新幹線・まちづくり推進室 企画調整・市街地整備担当

主幹 松山和弘 氏

小樽市議会事務局 事務局長 中村哲也 氏

1、取り組みの経緯と概要

交通結節点でもある小樽駅前には、駅前広場や街路等の公共施設が整備されていなかったことや、地区内の大半を占める木造家屋の老朽化、そして細分化された土地利用など小樽市の表玄関としては望ましい環境ではなかった。

そのような中、駅前地区の再開発事業の機運が高まり、昭和44年都市再開発法の施行と同時に適用第1号として再開発に着手することになった。

この再開発事業では、小樽駅前広場をはじめ3棟の施設建築物が新築をされた。この中の1つである「駅前第3ビル」は昭和51年に完成し、ホテル・プール・店舗・銀行などで構成され、駅前の中心的存在として地域の活性化に貢献をしてきた。

しかし、第3ビルの約6割の床面積を占めたホテルが平成14年に営業を停止したことを契機に施設利用者が減少し、地下飲食店を中心に空き店舗が増加したことから、建物の再利用について権利者、管理会社、小樽市の間で協議をしたが、設備等の老朽化による改修費や耐震補強費等がかさみ採算が合わないことなどから再利用を断念し、再々開発事業を行うこととなった。

一度再開発事業を行った建物について法定再開発事業ができるか、補助金を再度導入できるかなどについて、小樽市が北海道及び北海道開発局と協議を重ねた結果、①施設建築物の維持管理に支障が生じていること ②改修等の方法によって有効活用を図ることが困難であること ③既に建築後相当期間を経過していること ④都市機能の更新という新たな利用が行われること ⑤通常の再開発の条件がそろっていることなどが整理されれば、再々開発の導入が可能との結論となった。そこで、隣接する5敷地を施行区域に含めることで施行区域要件を満たし、更に「中心市街地活性化基本計画」に基づき実施されること等により国庫補助採択基準を満たすことが可能となった。

再々開発にあたっては、駅前という立地条件を活かし、まちなか居住を中心テーマとして、土地の高度利用、都市防災の向上、にぎわいのある中心市街地の活性化を目指すことを目的とし、商業・住宅・宿泊機能を併せ持ったツインタワー方式の高層複合商業ビルの建設を行う事とし、平成21年4月には商業施設、同年5月にホテル・住宅が完工した。

完工した第3ビルは、10階建て247室のホテル棟、17階建て、117戸の住宅棟となっている。

2、これまでの主な成果と課題など

旧駅前第3ビルのホテルが営業を停止したことを契機に、同ビル内の店舗の撤退が進み、小樽駅前の一等地であるにも関わらず、小樽の玄関口の役割を果たすことが出来ない状態が続いていたが、再々開発事業により誕生した「サンビルスクエア」では、新たなホテルや商業施設等が営業を開始したことにより周辺の歩行者通行量の増加につながり、賑わいが大きく向上し、小樽駅前のイメージアップが図られた。

また、ホテル棟に隣接して同時期に完成した住宅棟の高層分譲マンション117戸は完売し、まちなか居住人口の増加に一定の効果があつた。

一方、再々開発事業は、既に高度利用をしており、堅固な建物が建っているので、通常の再開発よりも建物評価、解体費等がかさみ、事業採算性に影響を与えることが課題として認識された。

3、今後の展開について

再々開発事業で建設された高層分譲マンションについては、多少の動きがあるものの、まちなか居住が維持されている。また、旧駅前第3ビルに接続されていた横断歩道橋の撤去が実施され、小樽駅前から小樽港第3埠頭を見通すことができる景観が創出されたとして、平成21年度に小樽市都市景観賞を受賞している。

駅前第3ビルとほぼ同時期に完成した駅前第1ビル、駅前第2ビルについても、老朽化に伴う維持コストの増大、耐震性不足の問題が浮上し、平成25年に小樽駅前再々開発街づくり検討協議会が発足した。駅前広場の歩車分離を含めた再々開発が必要との認識のもと、平成29年に小樽駅前第1ビル周辺地区再開発準備組合が設立されて新たな街づくりに向けて検討を進めている。

【所見】

小樽市は本市同様、大きな港を有する港町として発展をしてきた。近年では、クルーズ船も寄港し、観光都市として国内外から年間800万人もの観光客が訪れている。

一方で、人口減少は大きな課題となっており、昭和35年の約19万8千人をピークに、令和5年には約10万7千人まで減少し、近年では年間2千人ずつ減少している。合わせて、高齢化の波も着実に押し寄せており、老年人口は41.62%に上る。

こうした構造上の課題を抱える中、中心市街地に人の流れをつくることは、若年層への雇用の場の提供、コンパクトシティの推進の上からも重要な施策となっており、今回の小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業は今後のまちづくりを進める上でモデルとなるものと考えている。

実際に、駅前第 1 ビルについては地元商工会議所からも要望書が提出されており、北海道新幹線の新駅設立もある中、交通拠点を意識した再開発を望んでいるようである。

人口減少、人口流出の課題と向き合う地方都市として、中心市街地の活性化はまさに生き残りを掛けた将来に渡るプロジェクトであると考え。小樽市では再々開発という手法を駆使したが、都市再生緊急整備地域に指定された本市都心軸への賑わいの創出をしっかりと進めることから取り組んでいただきたい。



○「ICT パークの取り組み」(北海道旭川市)

日 時：令和 5 年 8 月 2 日

視察先：ICT パーク

旭川市 3 条通 8 丁目 842-2

対応者：ICT パーク ■■■■■ 氏

旭川市議会事務局 議会総務課 松木彩織 氏

1、取り組みの経緯と概要

ICT パークは 2021 年 2 月に旭川駅から徒歩 5 分の中心市街地に開設をされた官民連携の施設である。

昭和時代から映画館として市民に親しまれていた場所を大規模リニューアルして開設された。施設は、①トレーニングジム、②e コミュニケーションスペース、③スマートイノベーションラボ、④コワーキングスペース、⑤コクゲキ、などがある。

①トレーニングジムは、e スポーツの楽しさを共有し合えるトレーニングジムとして、10 席の PC 席があり、1 時間 500 円で利用が出来る。但し、18 歳以下は 2 時間無料となっており、平日の夕方からを中心に、9 割が高校生の利用となっている。

②e コミュニケーションスペースは、e スポーツを通じた交流を目的としたフリースペースとなっており、フリー Wi-Fi が整備され、ゲーム機などを持ち寄って、気軽に交流を楽しめる場として自由に使える。

③スマートイノベーションラボは、NTT 東日本㈱運営による施設。新ビジネスの共創や地域の課題解決をサポートしている。

④コワーキングスペースは、出張やテレワークなどで利用できるワーキングスペース。16 席あり、1 時間 500 円で利用が出来る。毎日使う方は 2~3 名ほどいる。他に 1 時間 1000 円で利用できる会議室も用意している。

⑤コクゲキは、180 名収容可能な劇場型イベントホール。ステージ上にはハイスペック PC を 10 台用意し、最大 5 対 5 の e スポーツバトルが実現可能である。実況解説ブースも設置しているほか、リアルタイムで配信可能な映像音響設備も完備している。貸し切り利用料は平日は半日 70,000 円、1 日 120,000 円、土日祝は半日 80,000 円、1 日 150,000 円となっている。北海道最大級の e スポーツ会場として、自己実現の場としての活用が期待されている。

ICT パーク開始のきっかけは、国の事業であるローカル 5G を地方で実証実験を行う企業として NTT 東日本が受託し、所有者の映画館オーナーの理解と協力があり旭川市に設立された。

ICT パークの目的は、人づくりと賑わいづくりが挙げられる。人づくりの背景として、ICT の急速な発達や国による ICT 人材育成の強化、学校教育でのプログラミング教育の必修化

など ICT 人材の育成が必要となっていることがある。賑わいづくりの背景としては、人口減少と若者の流出、中心市街地の賑わい低下の中、若者を中心に人気の e スポーツによって賑わいを創出しようとの意図がある。ICT パーク設立によって人づくりと賑わいづくりを進め、地域産業の活性化や企業誘致や新たな産業の創出も図りたいと考えている。

2、これまでの主な成果と課題など

2021 年の開設以来、e スポーツの大会やオンラインでの他市高校生との交流会など多くのイベントを開催し、賑わい創出や若者へのアピールなどが進んでいる。今年 2023 年には 4 つのイベントを開催しており、特に 2 月の周年イベントには ICT パーク縁日などを開催し、2 日間で 1000 名の来場があった。また、イベント開催に当たり、地元企業からの協賛を得られるなど市民との一体感も生まれてきた。

近年では社員旅行での施設利用や、不登校、ひきこもり状態の方の社会参加のきっかけとしての役割も担い始めている。

一方で課題としては、施設の維持管理費の確保が挙げられる。設立時は NTT 東日本が設立費用の負担を行い、旭川市の持ち出しはなかったが、ランニングコストは行政が負担を行っている。年間約 5000 万円のうち、3500~4000 万円が固定費となっており、その内、旭川市の負担が 6 割、残りを国の地方創生推進交付金で賄っている。来年度はこの国の交付金が終わる為、約 2000 万円の確保が課題となっている。旭川市からの一般財源の追加は難しく、収益事業での確保を目指しており、スポンサー企業の確保や、プログラミング教室の民間利用などを考えている。

3、今後の展開について

課題となる運営確保に向け、大きな武器となる事業が劇場型イベントホールであるコク、ゲキの更なる活用である。周年イベントで多くの市民が来場したように、イベントを夜に開催し、夜間の賑わいを創出し官公庁の補助金採択を目指している。合わせて、インバウンド需要の復活を見越し、海外からのお客様も取り込む考えである。

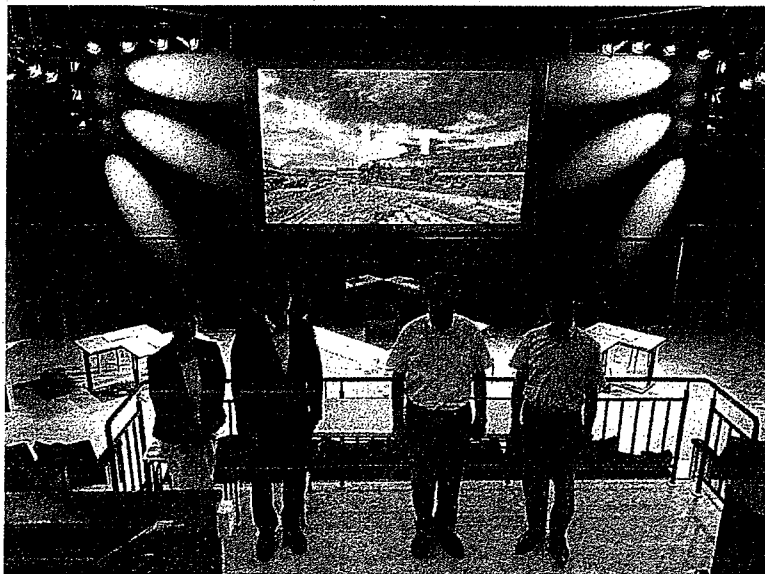
また、e スポーツは世界で 1 億人以上が参加をする大きな市場となっており、世界大会も開催されているが、日本国内ではまだ認知度も低い状況である。旭川市でも e スポーツのプロチームを持つてはどうかとの話もあったが、多額の運営費が必要なため実現には至っていない。企業の参画など民間の力が必要になって来る。

一方で市民の受け止めは概ね良好とのことで、是非施策を推進して欲しいとの声が上がっている。その理由として、子どもが様々なものに触れることでその可能性が引き出されることを期待しているそうである。基本的にはイベントでの集客が賑わい創出になっているが、市外からの集客にも努め、市内滞在時間の延長に繋げていきたいとの事である。

【所見】

コロナ禍の中、社会のデジタル化が急速に進むと共に、IT人材の不足が大きな課題となってきた。学校教育においてもプログラミング教育の必修化など国を挙げてIT人材の育成を推進はしているが、残念ながらその本気度は見えていない。そのような中、地方自治体としてIT人材の育成を、eスポーツを切り口に取り組みを進めるその挑戦に率直に敬意を表したいと思う。

eスポーツは、今後世界的にも拡大が見込まれる大きなマーケットになるが、日本においてはまだ市民権を得ているとは言い難い。専門学校などで取り組みが進んでいるが、自治体主体で行うには運営費の課題が大きい。人材育成や賑わい創出も効果として上げられるが、明確な数値となると必要予算に対し説得力に欠けると思われる。そこで、福祉的な視点として、ひきこもりや障がい者支援、そして高齢者支援など効果の幅を広げ、合わせてソーシャルインパクトボンドなど投資に対する効果の見える化も考えられと思う。民間との連携をベースにその実現性について検討をすべきことと感じた。



支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年7月31日 から 令和5年8月2日		
支出年月日	令和5年7月27日		
支 出 金 額	3,240 円		
支 出 先	New Days 新潟東口		
使 途 内 容	視察先お土産代		
備 考	行政視察 札幌市1080円 小樽市1080円 旭川市1080円		

領収書貼付欄 (調査研究費)

NewDays

N D 新潟東口
電話 025-250-0091
新潟市中央区花園1-1-1

2023年 7月27日 (木) 18時 3分
POSNO.002 19-FNO.00418-221739

領 収 証
新潟市公明党 様

¥3,240-
(内消費税 8% ¥240)
支払内訳 ¥240
現金 ¥3,240

但し 上記正に領収いたしました
発行レシートNO. [REDACTED]
20230727-002-00418-224738
財布等にはさんで保管頂く場合は、
印刷面を内側に折り保管して下さい
-----<<商品明細>>-----

新種の種フロランタン (3個 ¥3,240※
単 1080
※印は軽減税率対象商品です。
黄: [REDACTED]

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年7月31日		
支出年月日	令和5年7月31日		
支 出 金 額	1,470 円		
支 出 先	共同交通㈱		
使 途 内 容	タクシー代		
備 考	乗車区間 札幌駅～札幌市児童相談所		

領収書貼付欄 (調査研究費)

領 収 書
 No. 8950
 日付 2023年07月31日 14:48
 車番 000766 000
 メータ運賃 ¥1,470円
合計 ¥1,470円
 上記の通り領収致しました

消費税率 10%
 登録番号 T4430001004655

お車のご用命はGPS配車の
 札幌タクシー無線センター

ヤクニたつムセン

☎ 011-892-6000

共同交通株式会社
札幌市厚別区中央1条1丁目1番25号

☎ 011-891-7060

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年7月31日		
支出年月日	令和5年7月31日		
支 出 金 額	1,470 円		
支 出 先	金星自動車(株)		
使 途 内 容	タクシー代		
備 考	乗車区間 札幌市児童相談所～札幌駅		

領収書貼付欄 (調査研究費)

領 収 書

No. 3002

日付 23年07月31日 16:18

車番 0371 800


メータ運賃 ¥1,470-

合 計 **¥1,470-**

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

登録番号 T1430001004286
(消費税を含みます。)


金星自動車株式会社
 手稲営業所 ☎ 661-3131
 札幌市手稲区西宮の沢5条2丁目

ご乗車ありがとうございました。
 クレジットカードご利用できます
 ブルーチップサービス実施中
 タクシーのご用命は
 ☆のマークの金星ハイヤーへ

ハ ヲ イ ハ ヲ イ

☎ 8 8 1 - 8 8 0 1

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
 備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	5
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年8月2日		
支出年月日	令和5年8月2日		
支 出 金 額	30,000 円		
支 出 先	大雪カムイミンタラDMO		
使 途 内 容	ICTパーク視察利用料		
備 考			
領収書貼付欄		(調査研究費)	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

領収書

No. _____
発行日 2023/8/2

新潟市公明党 様

金額 ¥30,000-

但し 8/2 ICTパーク視察利用料として
上記正に領収いたしました。

内訳

税別金額 _____
消費税額 _____

一般社団法人大雪カムイミンタラDMO

〒070-0033

旭川市3条通7丁目4-1

オクノ6F

担当: _____

TEL: 0166-73-6968



※重ならないように貼付してください。

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	6
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年5月2日 から 令和6年2月29日		
支出年月日	令和6年3月15日		
支 出 金 額	1,527 円		
支 出 先	議会事務局総務課		
使 途 内 容	コピー機使用料		
備 考	24×30/31+3031=3054 3,054 円 × 1/2 = 1,527 円		

領収書貼付欄

(調査研究費)

新潟県新潟市 納入通知書 兼 領収証書

〒

新潟市公明党 様

<small>年度</small>	5	<small>担当課</small> 議会事務局総務課	<small>調定番号</small> 1116665 <00125390>
<small>会計</small>	005	一般会計	
<small>款</small>	25	諸収入	
<small>項</small>	05	雑入	
<small>目</small>	03	雑入	
<small>事業</small>			
<small>節</small>	11	議会費雑入	
<small>細節</small>	10	<議会事務局>議会費雑入	
<small>細々節</small>	10	<議会事務局>その他雑入	
<small>摘要</small>	コピー機使用料 (令和5年5月分~令和6年2月分)		

<small>納付金額</small>	3,055 円
<small>納期限</small>	2024年(令和 6年) 3月25日

上記の金額を納期限内までに納入してください。
2024年(令和 6年) 3月13日

新潟市長

領収日付印

(納入者捺印)

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

令和5年度 コピー機使用料明細一覧表

新潟市公明党 様

	白黒コピー (各階機)		カラーコピー等 (印刷室)		各月使用料	備考
	枚数	金額	枚数	金額		
4月分						
5月分	30	24	-	-	24円	
6月分	461	382	-	-	382円	
7月分	523	434	-	-	434円	
8月分	295	244	-	-	244円	
9月分	616	508	-	-	508円	
10月分	616	508	-	-	508円	
11月分	127	104	-	-	104円	
12月分	396	326	-	-	326円	
1月分	378	311	-	-	311円	
2月分	260	214	-	-	214円	入金済
3月分	461	385	-	-	385円	
合計	4,497	3,717	-	-	3,717円	

※「4月分」「5月分から2月分」「3月分」とに分けて請求いたします。

(令和6年4月15日作成)

※重ならないように貼付してください。

支出伝票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	7
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年3月1日 から 令和6年3月31日		
支出年月日	令和6年4月18日		
支 出 金 額	192 円		
支 出 先	議会事務局総務課 -		
使 途 内 容	コピー機使用料		
備 考	385 円 × 1/2 = 192 円		

領収書貼付欄 (調査研究費)

新潟県新潟市 納入通知書 兼 領収証書

〒
新潟市公明党 様

年 度	5	担当課	議会事務局総務課	調定番号	1123269 <00133098>
会 計	005		一般会計		
款	25		諸収入		
項	05		雑入		
目	03		雑入		
事業					
節	11		議会費雑入		
細節	10		<議会事務局>議会費雑入		
細々節	10		<議会事務局>その他雑入		
摘要	コピー機使用料 (令和6年3月分)				

ゆうちょ銀行または郵便局でお支払いの場、左側二枚をお出しください

納付金額 385円

納期限 2024年(令和 6年) 4月26日

上記の金額を納期限までに納入してください。
2024年(令和 6年) 4月16日

新潟市長

領収日付印

2

出 納

6. 4. 18

第四北越
新潟市役所

(納入者保管)

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票一覧表

会派名	新潟市公明党			
支出年度	令和5年度	支出項目	広報費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備 考
1	R6.2.26	新潟市公明党議会レポート2024	791,468	791193-215(前送手続料)-791-68 折り返し実施日、2月25日(日)
		小 計	791,468	
		合 計	791,468	

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市公明党		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別))
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年2月25日		
支出年月日	令和6年2月26日		
支 出 金 額	791,468 円		
支 出 先	(株)ジーアート		
使 途 内 容	新潟市公明党議会レポート2024		
備 考	791193+275(振込手数料)=791468 折り込み実施日 2月25日(日)		

領収書貼付欄 (広報費)

第四北越銀行

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
06-02-26	281	25	N				198	振 込
							お取引金額	お取引後元残高
							¥791,193	¥275
ご案内		* お振込明細 *			0A0198			
お振込先		[Redacted]						
ご依頼人		(カ)ジーアート [Redacted] 様			13:08			
		ニカクシコウメイウ セイム サトウ マコト 様			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 印紙税申告書 付につき新潟 ※※※※※※※※※※ </div>			
		TEL025-226-3468						

※本票は、お取引の証拠としてご利用ください。お取引内容が不明な場合は、お取引先へお問い合わせください。

※本票は、お取引の証拠としてご利用ください。お取引内容が不明な場合は、お取引先へお問い合わせください。

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

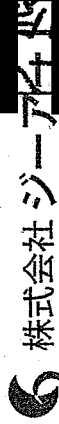
領収書貼付用紙

請求書

伝票No. 000340
PAGE 1

売上日 2024年02月19日

新潟市公明党 様



〒950-1106 新潟市西区とぎめき西1丁目
TEL 025-378-0218 FAX 025-378-0219

下記のとおり補請求申し上げます

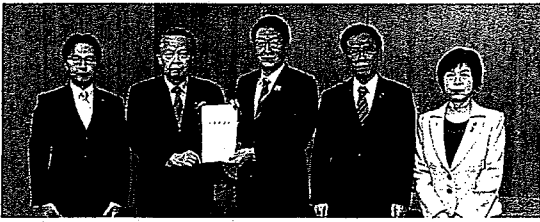
担当:

品名	数	盤	単位	単価	金額	備考
議会レポート2024			1式		380,000	
チラシ折込料			98,770枚	3.434	339,267	
税抜金額				719,267		
消費税(税率:10%)					71,926	
合計					791,193	

取引銀行

登録番号: T9110001033319

※重ならないように貼付してください。



令和6年度新潟市予算に対する会派要望を提出

令和5年12月15日に、中原市長へ令和6年度の予算に対しての会派要望書を提出しました。コロナ禍を乗り越え本格的な経済再生に向けた歩みを始めようとしています...

緊急要望 物価高騰対策と経済再生へ

- (1) 国の経済対策において低所得世帯支援枠に1世帯あたり7万円を追加することが盛り込まれたことから年内の予算化と迅速な執行
(2) 重点地方交付金での推奨事業メニューの追加を受け年内の予算化、速やかな事業展開とともに、今後もさらなる支援策の検討
(3) 低所得世帯支援と定額減税枠の狭間で支援の恩恵を十分に受けられないと見込まれる所得水準の方々への支援の検討

重点要望事項 (主な要望事項) ●:新規

Table with 4 columns: Category (e.g., 市民活躍, スポーツ, 子育て教育, 産業・交流), Sub-category (e.g., 健康・福祉, 安心・安全, まちづくり, 環境), and specific request items.

令和6年能登半島地震緊急要望 1月12日

被災された皆さまへ心からお見舞い申し上げます



新潟市公明党として、被災現場をまわり、皆さまの声をお聞きしながら被災状況等を調査してまいりました。こうしたことを踏まえ中原市長に緊急要望を提出しました。

- 被災地域の復旧に際して
・被災者に寄り添った情報提供及び伴走型支援の構築
・罹災証明書発行の加速化
被災地域の復興に際して
・被災地域を面とした地盤強化、液状化対策の実施と合意形成への支援

補正予算に大きく反映されました!

令和6年1月議会臨時会

1月30日・31日

一般会計補正予算

令和6年能登半島地震への対応

18,638,164 (単位:千円)

Table with 2 columns: Item (e.g., 生活・住まいの再建, その他地震関係) and Amount.

液状化等被害住宅修繕支援事業
液状化の被害が大きいことから、住宅の修繕だけでなく、駐車場など国・県の支援制度では対象とならない部分も市独自の制度により支援

私有災害復旧支援事業
地震により被災した私有道について、生活再建等に向け迅速な原形復旧を支援することにより、被災者(私有道権者)の負担軽減を図る

液状化等被害住宅建替・購入支援事業
地震による液状化の被害が大きいことから、本市独自の制度により、住宅の建替えや購入を支援

自治会等集会所復旧補助事業
地震により、自治会・町内会またはその連合組織が拠点とする集会所が被害を受けたことから、修繕に要する経費の一部を補助

新潟市公明党議会活動報告 2023

佐藤 誠

【所属委員会】 環境建設常任委員会
広域観光交流促進調査特別委員会



環境建設常任委員会での 主な意見・要望！

(9月議会の本会で一般質問する佐藤誠)

【6月議会】

「住宅用再生可能エネルギー等導入促進事業」に関し、脱炭素化の推進をはじめ、物価や電力高騰対策、地域経済活性化、災害対策など多くの波及効果も見込まれることから、今後さらに的確な周知とともに、速やかな事業展開で、より多くの効果を生むよう取り組まれない。

【9月議会】

「健幸すまいリフォーム助成事業」については、今後、広く、速やかな周知とともに、昨今の物価高騰の影響を受けている市民の皆さんの住環境の整備に向け、また、資材高騰の影響を大きく受けている事業者に対しても、より多くの効果的な成果を生むよう、しっかりと取り組まれない。

【12月議会】

「公園遊具の更新」に関し、今回は国補正の増額に伴い行うものだが、それでもなお使用禁止の遊具が少なからず残り、また今後も、老朽化や故障もあることから、遊具を利用する地域住民、子どもたちの安全確保へ、随時、予算確保と適切な更新に取り組まれない。

小山 進

【所属委員会】 総務常任委員会
大都市制度・行財政改革調査特別委員会



【令和5年12月定例会】

新潟市子ども条例の改正について

□概要

子ども条例において「子どもが権利侵害を受けた場合等において、迅速かつ適切に救済し、権利の回復を支援するための体制を構築する」と規定。

このことを踏まえ、子どもの権利侵害に係る相談を受け、権利の回復を支援するための体制構築に向け、必要な事項を定めるもの。

□この度の改正で

子どもの権利に関する相談・権利救済機関の設置について、2年前、議員提案としての条例検討の段階では、国において「子ども基本法」が検討の渦中にあつたため、条文の整理についてはその施策の動向を勘案し、「必要な措置を講ずる」ものと条例附則第2項で規定していたが、今回の条例改正により、当初目指した政策条例としての意義が新たな条文整理により確立されたことになる。今後は令和6年4月に「子どもの権利相談・救済機関」が本格的に設置されることになるが、本市の子どもたちの大きな支えとして展開されることを期待したい。

松下 和子

【所属委員会】 市民厚生常任委員会
農業活性化調査特別委員会



子育てしやすいまち新潟へ

【12月議会 一般質問より】

質問 産後ケア事業が今年度大きく拡充されたが、LINEや母子モの活用でさらなる周知につながるのでは

答弁 新潟市LINE公式アカウントや子育て応援アプリ母子モなどは、若い世代への周知には効果的と考えるので、今後活用していく。

新潟市産後ケア事業 … 令和5年度から利用料が安くなりました！

サービス名称	自己負担額	利用時間	利用可能回数
宿泊ケア	5,000円 (2,500円/日)	1泊2日(24時間) 3回食事提供あり	7日 ※1泊2日を「2日」とカウントします。
デイケア	2,000円/日	6時間 1回食事提供あり	訪問ケアと合算して7日
訪問ケア	1,000円/回	90分	デイケアと合算して7回

※各サービスを初めて利用する場合、1日(回)目の自己負担額は無料チケットの利用により0円となる
※市民税非課税世帯及び生活保護世帯は利用料が半額となる

質問 こども家庭庁の令和6年4月より施行となる「子育て世帯訪問事業」について、産後ケアでは賅うことのできない家事支援などは産後うつを防ぐ意味からも有効であると考えますが

答弁 妊産婦に対して家事や育児の支援をすることは、子育ての不安や負担軽減につながり、産後ケア事業とともに、産後うつ予防にも有効であると考えており、事業実施に向け検討していく。

子育て世帯訪問事業とは

要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦などを対象に家庭訪問し、子育てに関する情報の提供、家事支援、育児に関する援助を行うもの。

志賀 泰雄

【所属委員会】 文教経済常任委員会
地域公共交通調査特別委員会



災害に強い新潟市を進めます

【令和5年度 一般質問より】

質問 防災DXの重要性、必要性について本市はどう捉えているのか、その認識を伺う

答弁 防災分野におけるDXの推進は、避難所内での避難者受付、物資調達や避難所への物資輸送などの避難所運営をはじめ、発災後のり災証明書発行や生活再建相談といった被災者支援を円滑に行うにあたり、有効であると捉えている。また、平時においては、防災DXの活用により、住民一人一人が災害リスクを把握し、個人の実情に応じた避難行動を学習するなど事前対策においても有効である。

質問 防災DXを進めるには民間との連携が欠かせない。デジタル庁が主導して防災DX官民共創協議会も設立され、DXを活用した様々なサービスが紹介されている。本市も官民連携による防災DXを進めるべきではないか。

答弁 新潟県内においては、「チームにいがた」として、県と30市町村が災害時相互応援体制を構築しており、災害時における円滑な応援・受援にあたって、業務の標準化が不可欠となっていることから、本市においても、新潟県が取り組んでいるアプリケーションシステムの活用を検討している。なお、防災DX官民共創協議会においては、遠隔操作による避難所開錠技術なども紹介されていることから、本市として、より効果的に活用できるものがある場合は加入も含め検討していく。

防災DXとは

自然災害が激甚化・頻発化する中、防災インフラの老朽化や自治体職員の減少などこれまでの防災体制ではその対応が難しくなっており、防災においてもDXの推進が重要になってきました。国では国土強靱化に向けた計画や対策において防災DXを重要な位置付けにしており、内閣府が令和3年に発表した「防災・減災、国土強靱化新時代の実現のための提言」において、「防災DXに向けた具体的な施策が盛り込まれてもおります。

ご意見・ご要望・ご相談は

新潟市公明党

までお気軽にご連絡ください

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 TEL 025-226-3468

※この議会レポートは政務活動費で作成しています